

1 学校名（倉敷市立玉島高等学校）

2 総合的な探究の時間の名称（玉島探究）

※総合的な探究の時間の実践例ではない場合は、教科・科目名等を記入してください。

3 実施学年（1年次・2年次・3年次）

4 事例の概要（いずれかに（複数でも可）に○をしたのち、その概要を記入してください。）

1 課題の設定	○	5 まとめ・表現	○
2 情報の収集	○	評価、進路指導に関するもの	○
3 整理・分析	○	その他（ ）	
4 課題解決に向けた実践	○		

自分たちの地域がもっと活性化して豊かになってほしい。このテーマのもとにグループごとに課題を設定し、地域の関係者と共有しながら「できること」と「できないこと」を整理し、出来る範囲の手段で可能な地域プロモーションを考える。企画・立案にあたっては、フィールドワークでの体験や専門家の指導やアドバイスを受ける機会を増やし、最終評価にも関係していただいた方に参加していただく。

5 ねらい

- ①地域に対する関心を高めることで、将来の地域定住と地域貢献への意欲を高める。
- ②地域の異世代の方との交流を通して、コミュニケーション力の向上を図る
- ③地域の課題に対する自分の考えをまとめ、発表し、質問に対して的確な応答できるなどの力を身に付ける。

6 工夫点

歴史文化に関すること、マーケティングや商品開発に関すること、情報収集・編集・発表に関する事などように、各教科での学習内容や身に付けた技能を応用できる部分を整理し、教科横断的な視点で3年間の計画を立てている。また、フィールドワークや外部講師を招いて、教室から飛び出した活動を多く取り入れている。

7 苦労した点（課題をどのように解決したか）

フィールドワークや講演会を実施する前の準備段階では、「どのように動いていくか」「成果が本当にあげられるのか」という不安を抱えていたが、行動に移して行くことにより、実際の現場に足を運び地域の方とともに「課題」「課題解決」の糸口を見つけることができ、「自信」「自主性」へと変わり、自己効力感も強くなった。